

消防本部

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート				作成日	令和2 年	5 月	25 日
事務事業名	常備消防予防管理事業				事業類型	事業の推進			
担当部課G等	消防本部 予防課		予防G		記入者氏名	武士 直人			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり				■ 実施計画 対象事業		
	施策名		1 災害に強いまちをつくる						
	基本事業名		1 防災・減災対策の強化						
予算科目	一般会計	款 08	項 01	目 01	事業名 常備消防予防管理事業	根拠法令			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要									
【全体概要】 消防本部予防業務の推進を行う。					【業務内容】 火災予防と防火・防災の啓発促進。 各事業所に対し立入検査を実施し防火管理体制を強化し火災による被害軽減、事故防止を図る。				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民 幼少年防火クラブ 婦人(女性)防火クラブ 防火対象物関係	幼少年・婦人(女性)防火ク ラブ	数	20.	18.	18.	18.	18.
	防火管理者選任対象事業 所	数	249.	255.	260.	270.	280.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
立入検査 防火ポスター・標語の募集 防火管理講習会の実施 幼少年・婦人(女性)防火クラブの研修	立入検査	回	133.	176.	180.	180.	180.
	防火ポスター、標語応募人 数	人	187.	174.	200.	200.	200.
	防火管理者講習会	回	1.	1.	1.	1.	1.
	防火クラブの研修	回	1.	1.	1.	1.	1.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
市民の防火・防災意識の向上 住宅用火災警報器普及による火災被害の軽減 防火対象物における防火管理体制強化 住宅用火災警報器普及向上	火災発生件数	件	23.	21.	21.	21.	21.
	火災による死傷者	人	2.	2.	0.	0.	0.
	防火管理者選任率	%	98.	98.	100.	100.	100.
	住宅用火災警報器設置率	%	54.	54.	56.	58.	60.
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	278	292	200	200	200
	一般財源	千円	639	654	1,145	797	797
	事業費計(A)	千円	917	946	1,345	997	997
人件費計(B)	千円	51,600	7,000	50,700	7,000	50,700	7,000
投入量(A)+(B)	千円	52,517	51,646	52,045	51,697	51,697	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	幼少年消防クラブを結成し、火災の怖さを理解させ正しい火の使い方を指導する。また、婦人(女性)防火クラブにおいては、各家庭から地域へと防火・防災意識の高揚を図り、災害に強い那珂市をつくる。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	少子化、高齢化により、クラブ員数が減少している。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	婦人防火クラブとして初期に結成した団体も結成から30年余りが過ぎ、すでに2団体は活動停止状態であり、各クラブにおいても新入クラブ員の促進に困窮している状況である。						

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 防火・防災意識の普及啓発活動は地域の特性、地理的要因を考慮し消防・市が主体となり実施すべきである。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない ■ 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 当市における、令和元年における出火率は4.7件/万人となり平成30年と比較すると1.1件/万人の増加である。市民への火災予防、防火・防災意識の普及啓発活動を推進すべきである。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	■ 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似の事業がないため統廃合はできない。防火・防災への取り組みは、市民が安全・安心して生活するためには不可欠であり廃止・休止はできない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	■ 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 婦人(女性)防火クラブにおける住宅用火災警報器の普及活動は住宅火災による被害軽減を目的とし、この活動は自主防災力の向上にも繋がる。この普及活動は婦人(女性)防火クラブのボランティアによるものであり事業費は必要最小限である。 消防として防火管理者講習会を開催し防火対象物における防火管理体制強化を図っているが事業に対する事業費、人件費は必要最小限である。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 受益者負担を求める事業ではない 防火・防災への取り組みとして実施している事業は、主として市民への啓発活動となり、受益者負担を求める事業ではないと考えられる。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																			
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 各防火クラブにおける少子化や高齢化などの現状を踏まえ適切な支援を行い防火・防災につなげる。また、消防として市民と接する機会を通じて火災予防、自然災害等に関しても普及活動を継続し自主防災力を高める。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上		○		維持			×	低下			×
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上		○																		
維持			×																	
低下			×																	
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入) 市民に対して、住宅用火災警報器の設置率を上げるために啓発活動を行う必要がある。 各防火クラブにおける少子化、高齢化の現状を踏まえて、適切な助言、支援を行う必要がある。																				
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																				
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																				

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2年	5月	25日
事務事業名	常備消防警防管理事業				事業類型	維持管理		
担当部課G等	消防本部 警防課	警防G	記入者氏名	仲田 康人				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり			■ 実施計画 対象事業			
	施策名	1 災害に強いまちをつくる						
	基本事業名	3 消防体制の強化						
予算科目	一般会計	款 08	項 01	目 01	事業名 常備消防警防管理事業	根拠法令	消防法・消防組織法	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 市民の生命、身体、財産を火災、風水害等の災害から保護するとともに、これらの災害の軽減を図り、市民生活の安心・安全の確保を行う。					【業務内容】 消防本部警防・救急救助管理運営。			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
那珂市管内に移住する市民(約54,000人)及び市民が保有する財産	管内人口	人	53795.	53436.	53187.	52800.	52500.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
多種多様な災害を想定した訓練の実施 救急救助体制の維持 警防資器材の整備・点検	延べ訓練回数	回	920.	922.	922.	922.	922.
	救急救助体制数	班	4.	4.	4.	4.	4.
	警防資器材の点検回数	回	365.	365.	365.	365.	365.
				0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
迅速に対応し被害の軽減を図る。 救命率の向上を図る。	延べ救急件数	件	2297.	2272.	2272.	2272.	2272.
	救急要請に即時対応した割合	%	100.	100.	100.	100.	100.
	救急要請に即時対応できなかった割合	%	0.	0.	0.	0.	0.
				0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	469	503	1,495	1,304	475
	事業費計(A)	千円	469	503	1,495	1,304	475
人件費計(B)	千円	5,330	5,550	5,550	5,550	5,550	
			0.70人	0.70人	0.70人	0.70人	
投入量(A)+(B)	千円	5,799	6,053	7,045	6,854	6,025	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	昭和44年に消防組織が発足したことにより開始された。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	災害が複雑多様化の傾向にあり、これらの災害に対応するために装備の充実・職員の対応能力の向上等あらゆる消防力を駆使して市民を災害から保護し被害の軽減を図る必要がある。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	各種複雑多様化した災害に対応するために、それに対応した訓練の強化とともに、緊急時に対応するための装備を充実をすることが大切であるという意見がある。						

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか? また、取り組み後どのように変わりましたか? 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか?	(前回最終評価) (前回評価結果を踏まえて見直した内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td style="width: 50px; height: 20px;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td style="width: 50px; height: 20px;">0</td><td>千円</td></tr></table>) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td style="width: 50px; height: 20px;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table;"><tr><td style="width: 50px; height: 20px;">0</td><td>千円</td></tr></table>) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円									
0	千円									
0	千円									
0	千円									

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的・妥当性評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか? ●国や県ではないか、市が実施する理由はなぜですか? ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 消防組織法の規定により、市がその負担を担っており、市民生活の安全確保のための基本的な業務である。
有効性評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか? ●成果が一部の対象者に限定されていませんか? ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか?	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) この事業により消防力全体の強化が図られ、複雑多様化した災害に対応するための研究と訓練が継続的に積み重ねられており、必要な成果が得られている。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか? ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか?	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性はある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はなく、廃止または休止した場合、消防力の低下が考えられ、市民への安心と安全の期待に大きな影響を及ぼすと考えられる。
効率性評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか? ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか? ●事業目的にそぐわない支出はありませんか?	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 各種災害に対応できる必要な資器材の整備であり、事業費削減の余地がない。必要最低限の人員で対応しており、人件費削減の余地はない。災害対応は消防の任務であり、専門的な知識訓練を受けなければ災害活動は不可能である。
公平性評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか? ●受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなぜですか?	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 消防業務は消防法・消防組織法で定められた公共事業であり、災害時における受益負担は発生しない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)
--	--

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)
 多種多様な災害に対応するため、また資機材を的確に使用するために職員の継続した教育訓練、更に、現場での安全管理に対する判断が必要である。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	×
	低下		×	×

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入) 年々増加する多種多様な災害に対応するため、また資機材を的確に使用するために職員の継続した教育訓練、更に、現場での安全管理に対する判断能力が必要である。
--

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート				作成日	令和2年	5月	25日	
事務事業名	ポンプ操法大会出場事業					事業類型	事業の推進			
担当部課G等	消防本部 警防課	警防G	記入者氏名	秋山 愛弘						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり					■ 実施計画 対象事業			
	施策名	1 災害に強いまちをつくる								
	基本事業名	3 消防体制の強化								
予算科目	一般会計	款 08	項 01	目 02	事業名 ポンプ操法大会出場事業	根拠法令				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要										
【全体概要】 茨城県消防ポンプ操法競技大会県北地区大会へ出場するため、訓練を通じて消防団員の強固な精神力と体力を養い、水火災又は、地震等の災害から地域住民の生命と財産を守ることを目的にする。					【業務内容】 消防団員の規律保持及び消防ポンプ操法並びに放水技術の向上。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
大会出場部の消防団員	消防団員	人	393.	397.	400.	400.	400.	
	大会出場部の消防団員数	人	28.	38.	30.	30.	30.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
消防団員にポンプ操法訓練を実施。 ※新型コロナウイルスの影響により令和2年度のポンプ操法大会は中止。	消防団ポンプ操法訓練回数	回	93.	68.	0.	70.	70.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
訓練を通じて、消防団員としての厳正な規律を身に 着け、ポンプ操法及び放水技術の向上を図る。	訓練時間	時間	168.	198.	0.	180.	180.	
	火災による死傷者数	人	2.	2.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,280	1,591	1,305	1,312	1,312	0
	事業費計(A)	千円	1,280	1,591	1,305	1,312	1,312	0
人件費計(B)	千円	3,770	0.50人	3,990	0.50人	3,990	0.50人	
投入量(A)+(B)	千円	5,050	5,581	5,295	5,302	5,302		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	消防団員等の消防技術向上と士気高揚を図る目的で始まる。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	社会全体の少子高齢化による入団適齢者の減少と、サラリーマンの増加による時間制限の増大のため、夜間における訓練参加人員が減少傾向にある。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	那珂市消防団の代表として、生業を持つ傍ら夜間及び休日に訓練を行っていることは、住民からの信頼も厚い。							

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)	(見直し内容に関する予算への反映)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	消防団員の消防技術向上と士気高揚を図る目的であり、地域間の格差をなくすように、新入団員の入団促進を行った。今後も入団促進を継続して実施していく。	<input type="checkbox"/> 削減(事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input type="checkbox"/> 増加(事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE)*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 消防団員の士気高揚と消防技術の向上は必要不可欠であり、行政しか担えない。
② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されていませんか？●対象数が増加している場合、現状どりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 地域間の格差が見受けられ、ポンプ操法・放水技術の承継をしていくうえでも、新入団員をいかに確保していくかが課題となっている。
③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はなく統廃合の余地はない。消防団員のポンプ操法の訓練のため大会に出場することは有効であるため、廃止・休止すべきでない。
④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費は、訓練と大会出場に要する最小限の経費であり削減の余地がない。また、関わる職員数も最小限で行っており、人件費削減の余地がない。
⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由は何ですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 市町村の消防に要する費用は、当該市町村がこれを負担しなければならず、受益者負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善																			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 65%;"> 改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 大会出場を通じて訓練することにより、消防団員の強固な精神を養い士気高揚と消防技術の維持・向上を図るためにも、消防団員の確保が基本となるため、新入団員の入団促進を図っていく。 </div> <div style="width: 30%;"> 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table> </div> </div>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○		維持		×	低下		×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上	○																	
	維持		×																
	低下		×																
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) 大会出場を通して訓練することにより、消防団員の強固な精神を養い士気高揚と消防技術の維持・向上を図り、地域安全安心のため消防団員の確保が基本となるため、団員の入団を図っていく。																			
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																			
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																			

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2年	5月	25日
事務事業名	常備消防車両整備事業				事業類型	消防車両整備		
担当部課G等	消防本部 警防課	警防G	記入者氏名	仲田 康人				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	1 災害に強いまちをつくる						
	基本事業名	3 消防体制の強化						
予算科目	一般会計	款 08	項 01	目 03	事業名 常備消防車両整備事業	根拠法令	消防組織法・消防法・道路交通法・道路運送車両法	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 消防活動を迅速かつ適切に行うため、省力化により消防活動充実を図り住民の負託にこたえるため、車両整備を行う。					【業務内容】 火災による消火活動や災害時等の活動における緊急出動車両で、車両及び積載品の老朽化により車両整備計画に基づいて車両・積載品の整備を行う。			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
消防車両	消防車両	台数	5.	5.	5.	5.	5.
	救急車・救助工作車台数	台数	5.	5.	5.	5.	5.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
車両整備計画を立て更新する。	消防車両更新台数	台数	0.	1.	0.	0.	1.
	救急車・救助工作車更新台数	台数	1.	0.	1.	0.	0.
	マイクロバス等その他の車両更新台数	台数	1.	0.	0.	1.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
近年多様化する各種災害に対し、最新の車両及び資機材を更新整備計画に基づいて整備することにより、市民の安心・安全の確保を図る。	火災出場の件数	件	23.	21.	21.	21.	21.
	救急出場件数	件	2297.	2272.	2272.	2272.	2272.
	火災による死傷者数	人	2.	2.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内訳 費	国庫支出金	千円	0	16,832	14,818	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	39,900	39,700	24,700	8,000	41,100
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	6,128	4,367	2,847	1,322	5,761
	事業費計(A)	千円	46,028	60,899	42,365	9,322	46,861
人件費計(B)	千円	6,110	0.80人	6,330	0.80人	6,330	0.80人
投入量(A)+(B)	千円	52,138	67,229	48,695	15,652	53,191	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	車両・積載資機材の状態及び老朽化等により、各部に多くの故障等が生じ、車両の性能が発揮できなくなるため、車両整備計画を立て更新を行う。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	社会構造や生活形態の変化に伴い、各種の災害も複雑多様化しており、これらの災害に対応する車両や資機材の整備を行う。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	地域住民が、安心安全に暮らしていくことができるよう、適切な配置の要望がある。						

(4) 前回(平成30年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)	(見直し内容に関する予算への反映)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	複雑多様化する災害に対し、緊急車両整備計画に基づき、令和元年度は、東消防署水槽付消防ポンプ自動車を更新した。	<input type="checkbox"/> 削減(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 緊急車両及び資機材を更新整備することにより、多種多様化する各種災害に即時対応し、市民の安心・安全を確保するためには公共性の関与は妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 社会構造や生活形態の変化に伴い、各種災害も複雑多様化しており、これらの災害に適応するためには、車両整備計画に基づき、市の財政に支障を来さない範囲において、最新の車両及び資機材の更新を行っているため、成果は得られている。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はなく、市民の安心・安全を確保しなければならないため、統廃合・廃止・休止の余地はない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 最小限の人員で対応しており、市民の安心・安全を確保し多様化する災害に対応するために、最新の知識・訓練はもとより、常に最新の車両・資機材を計画的に確保しているため、事業費・人件費の削減の余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 市民の安心・安全を確保するための事業であり、受益者からの負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) → { 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善 }
 公平性の改善
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)
 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入)
 緊急車両整備計画に基づき、多様化する災害に対処する必要あり、車両更新は欠かすことのできないことである。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2 年	5 月	26 日
事務事業名	水防訓練・警戒出場事業				事業類型	事業の推進		
担当部課G等	消防本部 警防課	警防G	記入者氏名	秋山 愛弘				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	1 災害に強いまちをつくる						
	基本事業名	3 消防体制の強化						
予算科目	一般会計	款 08	項 01	目 04	事業名 水防訓練・警戒出場事業	根拠法令	水防法	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 久慈川水系5市村が合同で訓練を実施することにより、効果的な協力体制を確立し、水防技術の向上を図る。 また、河川増水時に警戒出場することにより、洪水被害の軽減を図る。					【業務内容】 久慈川水系5市村による連合水防訓練及び河川増水時の警戒出場。 (那珂市・日立市・常陸太田市・常陸大宮市・東海村)			

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市民	対象面積(那珂市全域)	km ²	97.82	97.82	97.82	97.82	97.82	
	対象人口(那珂市全人口)	人	53795.	53436.	53187.	52800.	52500.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
水防訓練及び災害発生時の警戒出場	水防訓練参加人員	人	33.	33.	33.	33.	70.	
	河川における警戒出動件数	件	0.	1.	0.	0.	0.	
	河川における警戒出動人員	人	0.	107.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
水害の被害の防止、軽減を図る	適時に警戒出動できた割合	%	0.	100.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	76	76	80	80	216	0
	事業費計(A)	千円	76	76	80	80	216	0
人件費計(B)	千円	3,770	0.50人	3,990	0.50人	3,990	0.50人	
投入量(A)+(B)	千円	3,846		4,066		4,070		4,206
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	水防法に、行政はその区域における水防を十分に果たすべき責任を有すると規定されているため。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	温暖化による気候の変化に伴い集中的な豪雨が発生しており、それに伴う水防体制の強化が必要と考える。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	風水害災害における床上浸水や道路等の通行止めが発生し、各方面からの要請や水害への対応強化について要望が寄せられている。							

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み																	
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) <p>局地的豪雨等に対応するため、河川・危険箇所及び市民の安否確認等、巡回及び警戒監視を実施し、関係機関と連絡を密にしています。今後も継続していきます。</p>															
		(見直し内容に関する予算への反映) <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 削減 (事業費)</td> <td style="border: 1px dashed black; width: 40px; text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="border: 1px dashed black; text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 増加 (事業費)</td> <td style="border: 1px dashed black; text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="border: 1px dashed black; text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="3"><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円															
(人件費)	0	千円															
<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円															
(人件費)	0	千円															
<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 <ul style="list-style-type: none"> ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？ 	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 水防法に、市町村はその区域における水防を十分に果たすべき責任を有すると規定されている。
有効性 評価	② 成果の向上余地 <ul style="list-style-type: none"> ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されていませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？ 	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 訓練により地域防災力を高め、連携・強化を深めることにより迅速かつ的確な災害対応が可能になる。
公平性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 <ul style="list-style-type: none"> ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はなく、廃止した場合は風水害等の災害が発生した場合に水防対応が遅れることで人的被害に繋る。
効率的 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 <ul style="list-style-type: none"> ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 近年の異常気象による降雨災害の増加傾向において、水防団に対する訓練や講習の実施、装備の充実、災害発生時の警戒の出場等について、今後更に拡充していく必要がある。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 <ul style="list-style-type: none"> ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求めない事業ではない。負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？ 	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 水防法に、市町村はその区域における水防を十分に果たすべき責任を有すると規定されていることから受益者負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) 	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 毎年全国各地で発生しているゲリラ豪雨による被害に対処するため、水防にかかわる関係機関との連携をさらに深めると共に、情報の共有化と効率化を図る。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 																						
改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じ場合も記入) 全国各地で発生している水害の対処を思慮すると、水防に係る関係機関との連携をさらに強化し、情報の共有化と効率化を図る必要がある。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 																						

評価対象年度	令和元 年度	事務事業評価シート			作成日	令和2年	5月	27日			
事務事業名	常備消防西署管理事業				事業類型	施設の運営、維持管理					
担当部課G等	消防本部 西消防署	副署長	記入者氏名	柏村 孝博							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり						■ 実施計画 対象事業			
	施策名	1 災害に強いまちをつくる									
	基本事業名	3 消防体制の強化									
予算科目	一般会計	款	08	項	01	目	01	事業名	常備消防西署管理事業	根拠法令	消防法 消防組織法
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 市民の生命・身体・財産を火災・風水害等の災害から保護するとともに、これらの災害の軽減を図り、市民生活の安全確保の活動を行う。						【業務内容】 (1)火災、救急、救助、各種災害の警戒防ぎよ (2)火災原因調査、災害状況調査、予防査察 (3)各種災害想定訓練、各種資機材・車両及び庁舎の維持管理					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (見込)	03年度 (計画)	04年度 (計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
(1)西署管内に居住する市民及び市民が保有する財産。	管内人口	人	14265.	13987.	12951.	12857.	12784.		
	車両台数	台	6.	6.	7.	7.	7.		
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
(1)消火・救急・救助活動(出場)	(1)延べ出場回数	件	555.	566.	566.	566.	566.		
(2)多種多様な災害を想定した訓練の実施	(2)延べ訓練回数	回	679.	759.	760.	760.	760.		
(3)車両の修繕及び点検	(3)緊急自動車、公用車の修繕点検回数	回	28.	21.	30.	30.	30.		
(4)庁舎・備品の修繕管理	(4)庁舎、備品の修繕回数	回	5.	4.	5.	5.	5.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
災害時、隊員が消防資機材を活用(車両及び資機材の異常の有無を把握)し、迅速な対応ができるよう 出場時に備える結果、安全で快適な住みやすいまち づくり(被害の軽減)及び救命率の向上が図れる。	救急要請に即時対応した割合	%	100.	100.	100.	100.	100.		
	救急要請に即時対応できなかった割合	%	0.	0.	0.	0.	0.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
(2)投入量の推移	単位	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(見込)	03年度(計画)	04年度(計画)	総事業費		
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	4,420	5,114	5,185	5,120	5,285	0	
	事業費計(A)	千円	4,420	5,114	5,185	5,120	5,285	0	
人件費計(B)	千円	176,500	27,000	183,000	27,000	183,000	27,000	183,000	27,000
投入量(A)+(B)	千円	180,920	188,114	188,185	188,120	188,285			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等									
①事業を始めたきっかけ	昭和44年に消防組織が発足したことにより開始された。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	災害も複雑多様化し、人命救助、災害防ぎよ等の活動は、迅速的確な対応が求められる。災害に対応するため、装備充実、職員の対応能力向上等あらゆる消防力を駆使して市民を災害から保護、被害軽減を図る必要がある。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	隊員が救急現場活動時において安全・迅速に観察・処置を逐実施するため、ウイルス感染症対策として、感染防ぎよ資機材(清潔感)について装備を整えることが求められている。								

